

保健福祉企画総務課長 様

庭園都市推進課長 青木 寛享

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和5年3月23日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	下石井公園の魅力向上事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<p>「園路に関すること」</p> <p>○点字ブロックの設置はしないのか。</p> <p>○芝生と透水性コンクリート舗装の境や、透水性コンクリート舗装と既存インターロッキングブロック舗装の境には全く段差がないのか。</p> <p>○西川アイプラザ付近の園路は傾斜があるが、平坦な園路部分とは区別できるよう、舗装の色を変える等の対応は可能か。</p>	<p>○今回の整備は、グラウンドの芝生化が主であることや、公園内や周辺道路に既存の点字ブロックが無く、接続が難しいため、設置しません。（※南側の歩道には点字ブロックがあるが、グラウンド部分からは距離がある。）</p> <p>○透水性コンクリート舗装と既存インターロッキングブロック舗装の境は、既存インターロッキングブロック舗装に擦り付けるように設計しているので段差は生じません。芝生と透水性コンクリート舗装の境は、雨水等による土のへたりも想定されますが、設計上は段差が生じないようにしています。</p> <p>○園路の傾斜がある部分はすでに平坦な部分と色・材質が異なり、また今回の工事の施工エリア外のため、これ以上の対応は考えていません。</p>	

「芝生利用に関すること。」

○芝生化されることで、今後これまでできていたドッチボールや走り回ることが出来ない公園になるように感じた。市民の方が自然を感じながらくつろぐ公園を目指されているように感じたが、その認識で良いのか。

○盲導犬やペットは芝生エリアに入ることは可能なのか。

○車いすも芝生へ入っても良いということだが、車いすの重量も多様で、シニアカーも車いすに含まれるという認識の方もいる。重量や種類によって制限されることはないのか。

○社会実験時は人工芝であったが、人工芝は検討しなかったのか。

○天然芝の場合、芝生の養生などで定期的に芝生に入れられない期間ができるのではないのか。

○現状、西川アイプラザ付近の傾斜部分とグラウンドの境に縁石が入っているが、芝生化後も縁石は入っているのか。

○夏場は暑くなるが東屋等、日陰になるものは設置しないのか。

「スプリンクラーに関すること」

○スプリンクラー設置部分（直径約7cm）にくぼみができるが子どもなど転ばないか。

○使用ルールについては、現在検討中ではありますが、現状でも「危険なボール遊び禁止」といったルールがあり、芝生化後も必要なルールであると考えています。子どもたちが走り回ったりなどは、公園の混雑具合などにもよりますが、問題ないと考えています。

○盲導犬の芝生エリアの進入については制限しません。

○管理運営上、車両の進入は原則禁止していますが、芝生のメーカーの方からは高頻度でなければ車両が進入しても大きな問題はなかと伺っています。車いすに関しても重量があっても耐えられると考えていますが、再度整理をさせていただきます。

○人工芝は夏場に温度が上昇することや清掃の観点から飲食が難しくなること、また劣化時の修復が困難であるといった観点から天然芝を選択しました。

○今回選定した品種(改良高麗芝)であれば、病気などやむを得ない場合を除き、定期的な養生期間は発生しないと考えています。

○縁石は撤去します。

○芝生広場内に新たに4本のケヤキを植樹し木陰を作るよう設計しています。

○くぼみは5mm程度であり、また周りの芝がなだらかに覆いかぶさるので、リスクは抑えられていると考えています。

○スプリンクラーに芝がかかるとくぼみの位置がわかりにくくなる。スプリンクラー部分に何か色を付けるなど対策は考えられるのか。

○子どもがスプリンクラーのくぼみで遊び誤作動が起こることはないのか。

○大人がスプリンクラーを踏みつけてしまっても問題はないのか。

○スプリンクラーでコンクリート部分が濡れて滑ることは無いのか。

「ベンチに関すること」

○透水性コンクリート舗装とベンチの色について弱視の方にはわかりにくいのではないか。

○ベンチの形状が長椅子のようだが仕切りや手すりは付くのか。

○ベンチの形についてだが、多様な形があってもいいように思うが、すべてこの長椅子タイプなのか。

○ベンチは夏に熱くならないのか。

「その他」

○公園内に点字ブロックが無いが視覚障害者が安全に利用できる対応はあるか。

○検討します。

○スプリンクラーは水圧がかかることでポップアップするので、子どもが触っても影響はないと考えています。

○耐久性の高い丈夫な素材を使用しているので問題ありません。

○風等にもよりますが、基本的には、芝生部分のみに散水されるように角度を制御しております。

○ベンチは白に着色するので、透水性コンクリート舗装とコントラストの差は出ると考えています。また、夜間に関してはベンチの輪郭に沿ってLEDライン照明を設置します。

○仕切りや手すりは設置しない設計です。

○今回整備するベンチは同じタイプです。タイプの違うベンチは既に設置されており、また、整備後の利用状況等踏まえ検討していきたいと考えております。

○熱くなりません。

○既存の看板を張り替えるよう検討しており、その際に公園の障害物等全体像が分かるよう表示するように考えております。

○看板は触図になるのか。

○車いすと人の高さは違うが案内板はどのような高さを検討されているのか。

○看板の位置には点字ブロックの敷設はされるのか。点字ブロックがなければ触図があっても気づくことはできない。

○イベント時に植栽は邪魔にはならないのか。

○新たに植樹するケヤキの根上がり等は問題ないか。

○枕木は芝生とフラットになるのか。小さい子供はつまづかないのか。

○下石井公園には広さがあるが、防災カマドベンチなど防災の機能はあるのか。

○キッチンカーも入るようだが、車を入れることは傷みが早くなり、改修も多くなるように思える。パースを見る限り、何処にでも出店できるように見えるが、どうなのか。

○検討します。

○既存の看板に合わせることを考えていましたが、再度検討します。

○検討します。

○これまでのイベントの実績等も踏まえ、できる限り支障とならない位置に配置しました。

○十分余裕のある根穴を掘り植樹するように設計しておりますので、問題ないと考えおります。

○フラットになるように設計しております。

○今回の整備はグラウンドの芝生化が主であるため、防災機能は考えておりません。

○車両の進入はイベント時等に制限することを考えており、また駐車場所についても、公園の利用状況等踏まえ調整したいと考えております。